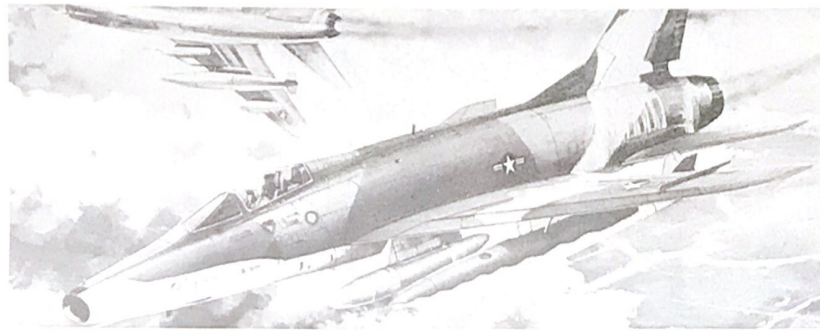


NORTHAMERICAN- F-100D SUPER ROCK WELL SABRE

1/72 スケールシリーズ KIT No. JS-035
ノースアメリカン・ロックウェル F-100Dスーパーセイバー



(F-100Dスーパーセイバー戦闘機)

F-100は世界で初めての全式超音速戦闘機であると同時に、アメリカ空軍のセシユーションシリーズの第1号機として、有名な機体です。原型のYF-100Aは、1953年5月25日にエドワーズ空軍基地で初飛行し、10分10秒には時速1,214km/hの世界最高記録を樹立して注目された。生産型のF-100Aは翌年9月に第一線の部隊に配置されました。

普通一ツマツハシは、高度0m(海面基準)で気温が摂氏15度のとき約1,234km/h(秒速340m)であるが、高度で早いところでは、同じツマツハシでもスピードが低下するので、F-100の高速飛行に都合のよい高度11,000mでは約1,062km/hとなり、F-100は世界で最初の超音速戦闘機ということになります。

F-100Aから発達したF-100Cは、翼の下に爆弾や対空ミサイルをとりつけることができる戦闘機として、1955年1月17日に初飛行。おもに戦闘

空軍の部隊に配置されました。このF-100Dは改造された、アメリカ州兵空軍やトルコ、台湾空軍などでも使われました。

このキットのF-100Dは、1956年1月24日に原型が初飛行したF-100系の決定版で、それまでの旧型よりもエンジンが強化され、垂直尾翼が大きくなって、安定性がよくなり、また空中給油装置もつけられ、実用性がよくなりました。

ほかに、2人乗りのF-100F練習機やカメラをとりつけたRF-100写真偵察機などがあり、その他の派生機をあわせて、F-100系の全製作機数は2,294機となり、このうち半数以上の1,247機がF-100Dです。

F-100Dは1956年10月から日本にも姿を現わし、その後、九州駐屯基地の第8戦闘爆撃連隊、二武基地の第21戦闘爆撃連隊、さらに沖縄の選手納基地の第18戦闘爆撃連隊に所属、1959年にはF-100Dのアクロバット・チームであるサンダーバーが

来日して、F-100Dは日本人にも愛され、飛行機になりました。

F-100Dは、汎用性の戦闘機としてベトナム戦線で大活躍したほか、トルコ、フランス、アフガニスタン、アラブ、タイなどに輸出され、F-105やF-4ファントムIIなどを見合わせるまで、第一線の主力戦闘機としての任務を果しました。

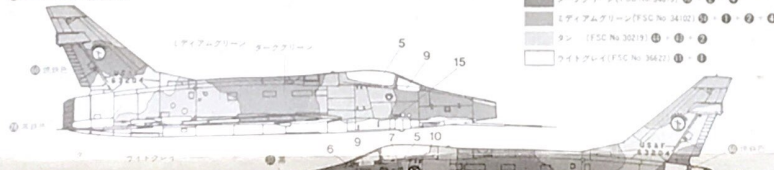
F-100Dのデータは、乗員1名、ブラント&ホイットニー J57-P-21A ターボジェット 推力5,310kg(アフターバーナー推力7,710kg)、全幅11.82m、全長14.33m、主翼面積35.3㎡、全備重量15,670kg、最大速度1,389km/h(高11,000m)、海面基準14分16.877m/s、最大上昇率は15,200m、航続距離2,410km、20mm機関銃×4、最大武装搭載量3,750kg。

編者 野村 正

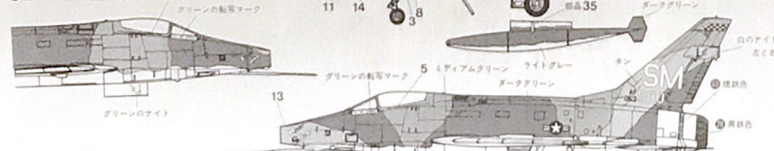
Marking & Color Painting Guide

(マーキング及び塗装参考図)

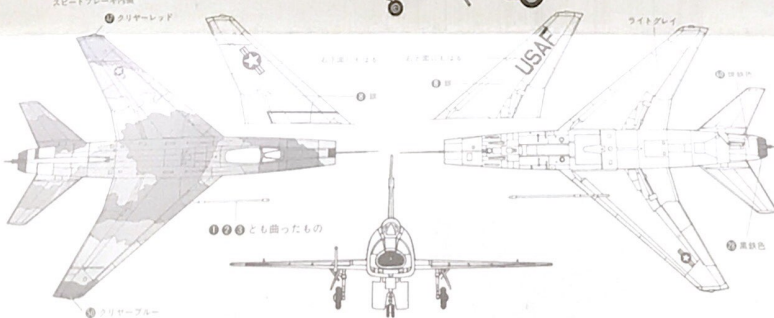
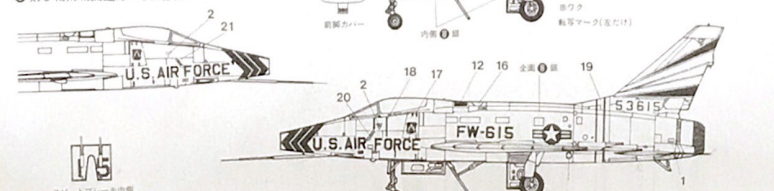
① 第131戦闘戦闘機中隊



② 第308戦闘戦闘機中隊



③ 第8戦闘爆撃連隊 司令官機



F-100D スーパーセイバーの塗装について

迷彩の場合は下塗りを塗り、次に上面のタン、ミディアムグリーン、ダークグリーンの順に塗装していきます。境界線はボカすようにして、半ツヤ消して塗装します。境界線の場所によって色具合が少しづつ異なるので写真を見ながら塗装して下さい。部品によって相違点から塗装した方がよいものと、そうでないものがありますから自分で考えながら美しいモデルを仕上げてください。

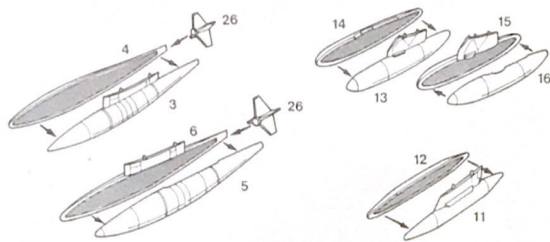
スライドマークの貼り方

1. マークを台紙から切り抜き、まわりの透明な部分を切りとっておきます。
2. 水に20秒位浮かべてください。
3. マークを台紙からずらして所定の位置におき、台紙をずらして抜きとります。
4. マークの上からやわらかい布でおさえ、余分な水分をぬきおいてください。

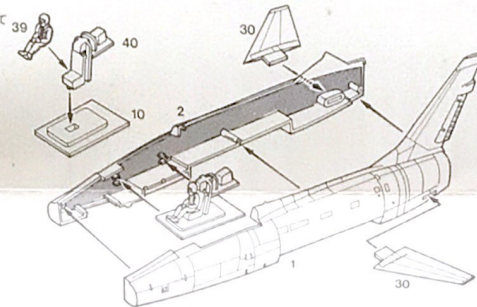
①-④の番号はモデルカラーの番号

- ①-④の番号はモデルカラーの番号です。くみだしたカラーの色をぬくときは新しいモデルを作りましょう。
- タン (30213) ① (④専用ソフト少量の①) (原色の場合②+③+④)
- ミディアムグリーン (34102) ② (少量の②) (原色の場合②+③+④)
- ダークグリーン (34079) ③ (少量の③+④) (原色の場合②+③+④)

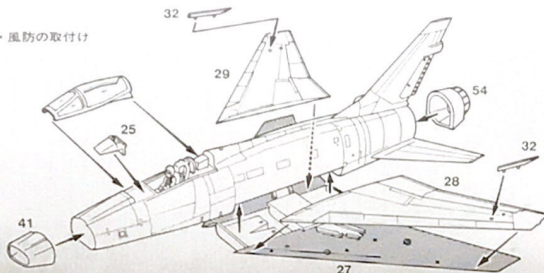
1 部品の組立て



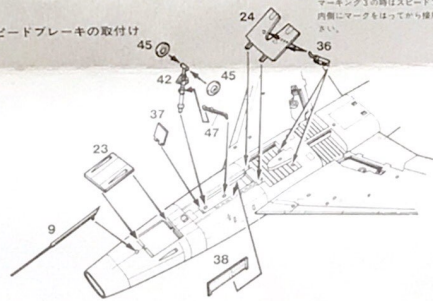
2 胴体の組立て



3 主翼・風防の取付け

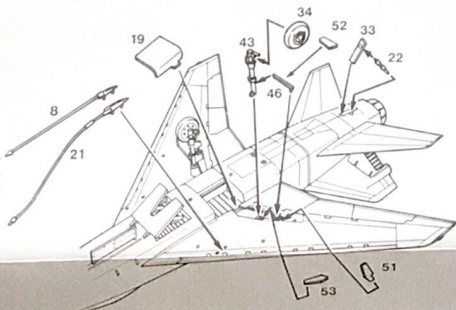


4 前脚・スピードブレーキの取付け



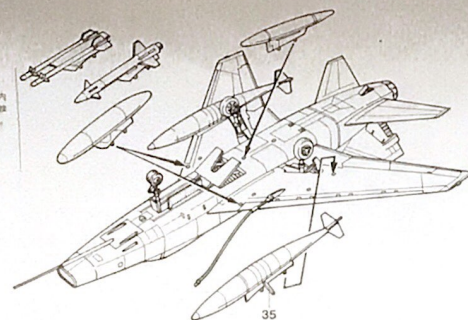
5 主脚の取付け

どちらでも良いのですが、このキットのマークでは曲った方を設置して下さい。



6 武装の取付け

この2種類の内好きなものを設置して下さい。



★くみだてるまえに

■説明書をよく見て、指示に従って作ってください。
 ■部品をコンナーから切りはなす時はニッパやハサミ、カッターを使ってください。

①②③の番号は7色カラーの番号です。くみだしたら必ず色を覚えておいてはらしい色を作りましょう。

★注意★
 部品を取り出した空袋は幼児が破ったりしない様に破り捨て下さい。
 ★接着剤取扱上の注意★
 1 幼児のいたずらに注意し接着剤以外に使用しないこと。
 2 火気には注意し換気をよくすること。
 3 故障に陥わないこと。
 表示者 SZ3000 SZ3006 SZ5013

図-1 バイロットは透視してからシートに接着します。コックピット部分は明るいグレー、暗いグレーをつかいわけて塗装して下さい。



図-3 スワイトマークは付く。こぼり気味はOK

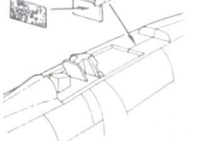


図-5 主脚正置図

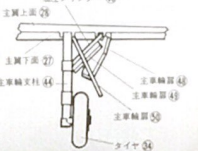
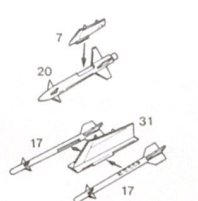
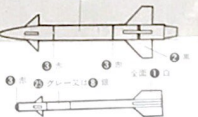


図-6 ミサイルの塗装と組立て



《部品番号及び名称》

- 1 胴体 (白)
- 2 尾翼 (白)
- 3 増設タンク (白)
- 4 * (白)
- 5 * (白)
- 6 * (白)
- 7 ミサイルパイロン
- 8 受渡管
- 9 ビーム
- 10 コスプレイタ機
- 11 ロケット弾ヘッド
- 12 *
- 13 *
- 14 *
- 15 *
- 16 *
- 17 ミサイル (AGM)
- 18 ミサイル (AGM)
- 19 *
- 20 *
- 21 機頭部
- 22 *
- 23 *
- 24 *
- 25 *
- 26 *
- 27 *
- 28 *
- 29 *
- 30 *
- 31 *
- 32 *
- 33 *
- 34 *
- 35 *
- 36 *
- 37 *
- 38 *
- 39 *
- 40 *
- 41 *
- 42 *
- 43 *
- 44 *
- 45 *
- 46 *
- 47 *
- 48, 49, 50, 51, 52, 53 *
- 54 *

U.S. AIR FORCE U.S. AIR FORCE

USAF USAF

FW-615 FW-615
580 53615 53615

63204 63204
AF 580 AF 580
AF 053 AF 053

15 15
MAJ DON SCHMICK MAJ DON SCHMICK

MADE IN JAPAN

